

令和 8年 5月7日

保健福祉企画総務課長 様

北区役所地域整備課長

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和 8年 4月23日岡山市くらしやすい福祉のまち
づくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	県道岡山児島線電線共同溝事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<p>歩道と車道の高さ（段差）について確認したい。</p> <p>インターロッキングブロックと黄色の点字ブロックを並置する際、視認性は確保されているか。</p> <p>インターロッキングブロック舗装について、整備後の維持管理についても十分に考慮していただきたい。</p> <p>点字ブロックの両脇にラインを入れて色を際立たせるのはどうか。</p>	<p>歩道形式はセミフラット型（5センチ段差）を採用しています。横断歩道への接続部については1センチの段差となるよう設計しています。</p> <p>輝度比については2.0以上を確保していることを確認しています。</p> <p>本路線は定期的に道路パトロールをしている路線になります。また、歩行中に気になる点があれば、通報いただければ対応可否を含めて検討します。</p> <p>他の事例も参考にして、検討します。</p>	

<p>点字ブロックの枚数が多すぎると、利用者として迷うので、不要だと思われる箇所について再度検討してほしい。</p>	<p>承知しました。</p>
<p>点字ブロックとグレーチング蓋が近いように見える。歩行時、白杖がグレーチング蓋に刺さることはないか。</p>	<p>今回は細目のグレーチング蓋を採用するため、白杖がグレーチング蓋に刺さることはないと考えていますが、改めて寸法の整合を確認します。 (会議後、問題ない寸法と確認)</p>
<p>大きな交差点での斜め横断は視覚障害者にとって非常に困難である。エスコートゾーンと音響式信号機の整備を要望する。</p>	<p>警察に要望があったことを伝えます。</p>
<p>現在、車道に矢羽根を設置して自転車の走行位置を示す計画だと理解しているが、過去の意見を踏まえると、自転車専用通行帯を設けることも検討できないか。</p>	<p>既整備部分を再度壊しての改修は現時点では困難であるため、当面は矢羽根設置による車道誘導に留める計画にしています。</p>
<p>街路樹の根上対策を計画していて安心した。街路樹の高さはどのくらいか。また、バス停付近への設置計画があるか。</p>	<p>街路樹は膝下程度の高さの木と概ね5～10メートル程度になる木を計画しています。また、バス停や交差点付近には高木の計画はしておらず、見通しを確保できるようにしています。</p>
<p>無電柱化後、掘り返しによる舗装のガタツキはないか。</p>	<p>当該区間は既に市街地が形成されているため掘り起こしの頻度は多くないと考えられます。</p>
<p>掘り返し後の補修は元のインターロッキングに戻すよう指導をお願いしたい。</p>	<p>承知いたしました。</p>
<p>路面がレンガ色だと黄色の点字ブロックとの明暗比が映えにくいいため、路面の色を黒っぽい色にしてはどうか。</p>	<p>見え方については再度確認します。</p>